



【NEZU システム通信】

(Vol.0017)

発行日 07.12.4

ごあいさつ 日頃は根津グループとお取引頂きまして、誠にありがとうございます。

今回のNEZU システム通信は、企業や政府の重要データを守る「データセンター」についてお届け致します。

11月14日の日本経済新聞の一面に、「**地中に情報処理拠点**」という見出しでデータセンターについて記事が掲載されました。日本では初めて**地表から百メートルの地下空間(鉱山跡地)に、企業や政府から情報システムの運営を受託するデータセンターを設置する**という内容です。地下にデータセンターを建設する理由は、建設する場所が堅固な岩盤の為、耐震性が強いこと、また年間を通じて気温がセ氏15度と低く、さらに地下水を利用することで機器を冷やす為の電力の消費を削減することができるというメリットがあります。偵察衛星にも発見できない軍事レベルのセキュリティの実現を目指し、サービスの開始は2010年4月としています。

さてこのデータセンターとは、一体どんなところなのでしょうか？

データセンターとは

データセンターとは、**企業などのコンピュータ(サーバー)を預かり、情報システム全般の運用や保守を請け負う施設**です。自社内でデータセンターを設置し、管理する企業もありますが、電話会社やセキュリティ保障会社、インターネットプロバイダ等、データセンターのサービスを提供する企業も数多くあります。

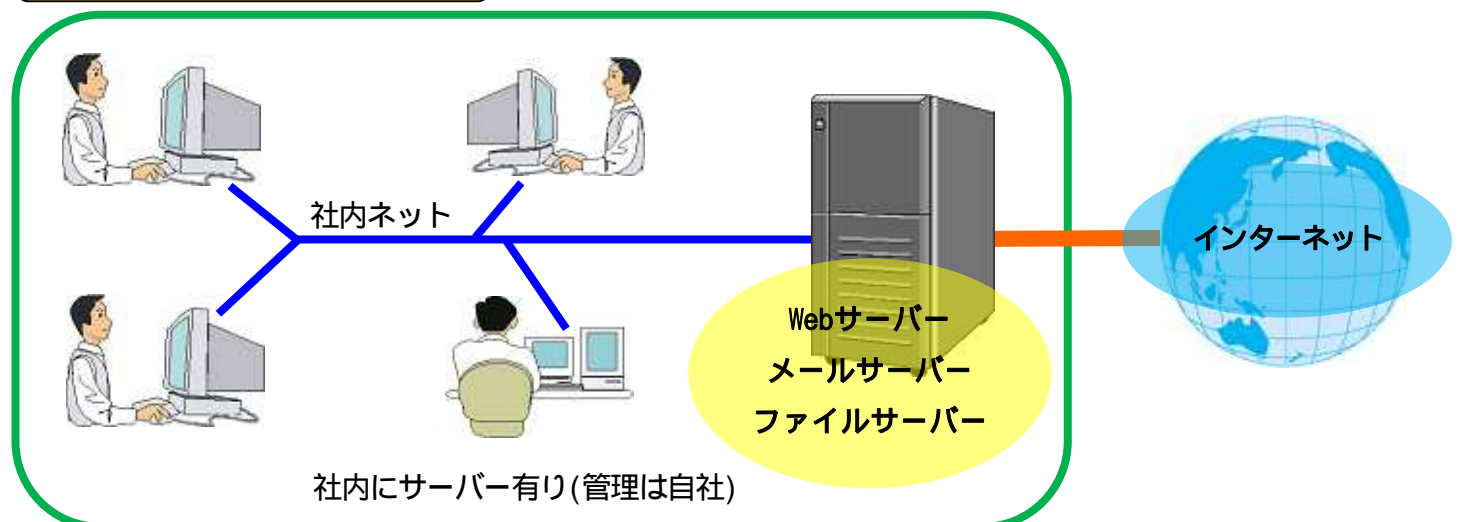
データセンターは、耐震はもちろん、地震の時の揺れを低減する免震、防火設備、空調設備、停電時の電源設備等、あらゆる設備を完備しています。また、データセンターは厳重な24時間監視体制でセキュリティ環境も万全で、不審者の侵入等によるデータの紛失や流出を防止できます。

サービスの一例 ~サーバーホスティング~

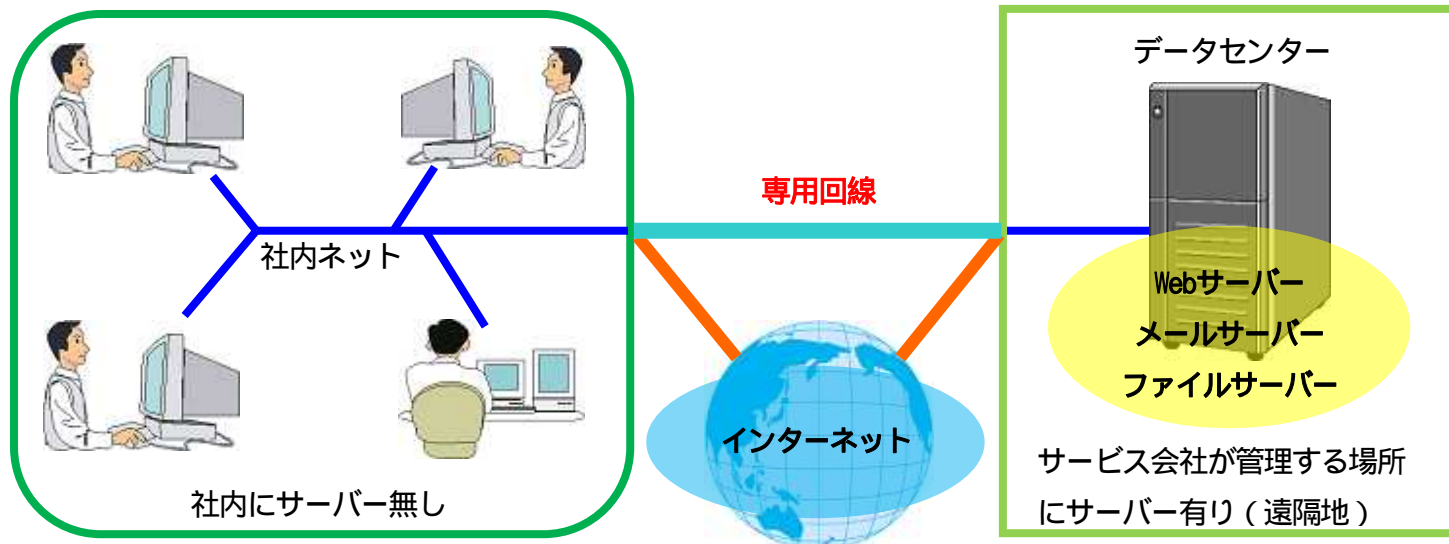
使用者側がサーバーを専用または共有で借りるサービスです。Webサーバーやメールサーバー、ファイルサーバー等の自社サーバーを、ホスティングサービス会社に全て預ける様なイメージです。

ホスティングサービスのメリットは、初期の環境構築から運用までにかかる負荷が軽減できることです。また運用管理もホスティングサービス会社に依頼でき、サーバーの設置スペースを考慮する必要もありません。オプションサービスとして、メールのウイルス検知サービスやスパムメールチェックサービス、有害サイトのチェックサービスなどもあります。

自社でサーバーを管理する場合



データセンターサービスを利用する場合



その他にも、自社で機器を全て準備し、データセンターに設置する場所を借りるのみのハウジングサービス(管理依頼も可能)があります。コストは掛かりますが、一箇所のデータセンターだけでなく複数のデータセンターにサーバーを預けることで、本当に最悪の事態を免れる手段にもなるでしょう。

データセンターを利用する理由・・・事業継続計画

万が一、企業が自然災害や大火災、テロ攻撃等の緊急事態に遭遇した場合の速やかな原状回復、平常時に行うべき活動や緊急時における事業継続の為の方法、手段等を取り決めておく計画のことを**事業継続計画**と言います。

近年になり、大地震や海外でテロ攻撃が実際に起きていることから、有事を想定し、いかに業務を継続させるか計画を立てておくことが必要になってきています。自動化・システム化している現代の事業継続計画の基本として、データセンターにサーバーを預け、業務を停止させることの無いように最低限の重要データを守ってもらう等の仕組み作りが、今後の選択肢としてクローズアップされてくるでしょう。

編集後記

こんにちは、情報システム事業部の添田です。今年も残すところあと1ヶ月になりましたね。10月の社内営業会議内で、40期(2006年9月～2007年8月)事業活動で特に活躍した社員へ表彰する表彰式がありました。今回は最優秀者員に選ばれた社員はいませんが、優秀社員、営業や製造における内容で活躍した社員多数が表彰されました。今期も社員一人一人が前期よりもさらにレベルアップする為に、日々、お客様信頼の為に業務改善に「挑戦」していきたいと思えます。



さて、お客様からの今年のご座流星群の情報についてリクエストを頂きました。ありがとうございます。今年のご座流星群は、去年と同じ時期の12月14日～15日未明(ピーク時)にかけて見られるそうです。月が宵のうちに沈み、流星群の活動が活発であれば1時間に最大で80個～120個の流れ星が見られると予想されています。去年は生憎のお天気でのご座流星群を見ることができませんでした。今年には晴れることを期待し、好条件の天体ショーを楽しみに待ちたいと思えます。

<http://astro.ysc.go.jp/geminid.html#2007>

発行：根津鋼材 株式会社

住所：〒116-0014 東京都荒川区東日暮里2-2-3 (TEL)03-3805-5555

メール：hp-master@nezu-g.co.jp ホームページ：<http://www.nezu-g.co.jp/>

発行人：根津訓光 / 監修 樋口良成 / 編集長

編集：情報システム事業部

NEZU システム通信に掲載された記事の転載はご遠慮願います。

このメールマガジンは、弊社とお取引があり配信依頼がありましたお客様にのみ発行しております。配信中止の場合は、お手数ですが hp-master@nezu-g.co.jp までご連絡ください。その際には、御社名、御社(配信先)メールアドレス、担当者様名を明記くださいます様よろしくお願致します。